



愛ふあーすと新聞

愛ふあーすと新聞/第47号
発行責任者: 鍋島 一博
株式会社アイファースト
〒259-0301 神奈川県
足柄下郡湯河原町中央
2丁目18番地26
電話 0465(62)0007
FAX 0465(63)3255

福浦漁港 みなと食堂様

皆様は湯河原の三大行列店をご存知でしょうか？
その一店、**福浦漁港みなと食堂様**は、真鶴駅から徒歩十分、新鮮な山海の幸と絶品料理で人気を博している食堂です。

店内に入れば、元漁師小屋らしい活気の溢れた雰囲気、気持ちが高まります。評判のテラス席からは、初島、大島、利島、天気が良いと新島も見え、新鮮な魚介を味わいながら、海一望の絶景を存分に楽しむことができます。

大人気の絶品料理は、福浦港、真鶴港の定置網で揚げた朝獲れの地魚を使っており、鮮度は折り紙付きです。板前さんは、地元、真鶴町出身で、子供のころから新鮮な魚を食べて育ったので、鮮度にはとても厳しいそうです。お客様から見える所で見事な包丁さばきを振るっているのです、ぜひ一度声をかけてみてはいかがでしょう。

十種類以上用意されたこだわりのメニューは、店主の「**魚をシンプルに沢山食べてほしい**」との思いを反映して、ボリュームたっぷり・愛情たっぷりです。その季節に網に入る魚を使い、いつ来ても飽きないメニュー作りをされています。



住所
〒259-0301
湯河原町福浦一〇九一二
電話・FAX
0465(20)7005
(記事 荒井正太郎)

リーズナブルな価格で、心行くまで新鮮な魚を味わうことができ、お腹もお財布も大満足まちがいありません。地元を問わず県内外の魚好きが集まり、リピーターが止まないとこの人気も納得ですね。

また、毎日その日に揚げた魚で定食を作るので、決まったメニューはありません。開店前に店の入口横に貼り出すのは、本日の特別なメニューを楽しみにしてください。

快生堂様

湯河原町宮上の五所神社前に店舗を構えて四十一年の「**クスリの快生堂**」様。

一昨年、昨年と相次いで先代のご両親が亡くなられて、現店主は娘の野末アキコさんです。店名を「快生堂薬局」から「クスリの快生堂」に改名して、昨年十二月、新たなスタートを切りました。

昨今ドラッグストアや調剤薬局が主流の中で、地道にクスリ屋を続けられている訳は、「**患者さん（お客様）との丁寧な相談の中から的確な漢方薬を見つけ出してくれる！**」の一言に尽きます。

例えば、
・朝夕の季節性の乾いたコンコン咳には「**小青竜湯**」
・重い濁ったゴホンゴホン咳には「**麻杏甘石**」
・乾いた強いアレルギー咳には「**五虎湯**」
・喉がえらえらしている咳には「**ジージョコデイン**」
(商品名)

という様に、私でも四十年のお付き合いの中で、家族の体調不良は判断が出来る様になりました。

漢方薬は早めの対処こそ効果がより現れ、直るまでには罹患した期間の倍必要と、先代のお父様より聞かされたもので

《交換品―ナ―》
オレンジのバッグが素敵口



ときに、店内の一面にはセンスの良い日常雑貨用品が並ぶ棚があります。これらの品は買い物金額に応じてもらえる点数の交換品です。店主、明子さんが選んだおしゃな品々で「クスリの快生堂」様に足を運ぶ別の楽しみでもあります。

夫のジローさん、かい（トイプードル）、モアナ（チワワ）をこよなく愛して止まない店主のアキコさん。我が家はもちろんの事、地元の「かかりつけクスリ屋」として更に繁盛されていく事でしよう。

住所
〒259-0304
湯河原町宮下三四七一
電話
0465(62)2810
(記事 杉崎充枝)



店主アキコさん



奥の椅子に座って相談します。



整然と並ぶ漢方薬。



は、**せいしん**（西相信金）の元職員仲間が心と力を合わせて創業した会社です。2004年3月スタート。どうぞよろしくお願いいたします。

愛ぶあーすと新聞

愛ぶあーすと新聞/第47号
発行責任者: 鍋島 一博
株式会社アイファースト
〒259-0301 神奈川県
足柄下郡湯河原町中央
2丁目18番地26
電話 0465(62)0007
FAX 0465(63)3255



私が小学五年生の時、担任の先生がクラスの皆に向かって「一年で百冊、本を読みましよう」と言いました。

先生はノート半分位の大きさの紙に、生徒と本の名前、読後の気持ちを書いた数行書けるように、ガリ版で「感想文用紙」を刷ったのです。

私は図書館で借りて来た本を読んで、この用紙に数行の感想を書いて先生に提出しました。次の日には先生が赤ペンで感想文の感想を書いてくれるのです。その赤いペン字には温かな言葉が並び、少年だった私の心に嬉しい気持ちがあふれ出て来ました。

この先生との出会いが本を好きになった切っ掛けとなったのです。

二十代の頃、よく読んだ本に塩狩峠(三浦綾子著)という小説があります。その冒頭の話に次のような場面があります。

主人公である少年の学校に「お化けが出る」という噂が立ち、クラスの友達全員で夜九時に集まる約束をします。少年が家に帰ると大雨になりました。現代のようなコウモリ傘がない時代の話ですから、少年は学校へ行くのをためらいます。子供思いの母親は「こんな大雨の中、行かなくても良いのよ」と言うのですが、父親は無言を言わず「行きなさい」と命令します。簑笠をかぶった少年は、濡れになって、泣きながら学校へ向かいます。やつのこと、約束の集合場所、校庭の真ん中にある太い樫の木根元に辿り着きます。友達は一人も来ていません。

少年が「やっぱり来る訳ないよ、こんな雨だもの」と

思いつて落胆していると、樫の木の後ろから、日頃クラスで目立たない少年が顔を出して「よく来たな」と声を掛けてきたのです。

「君こそ、よく来たね」と少年が言うと、

「約束だからな」とその少年が答えました。

二人の少年はこれを機に一生の親友となり、将来の生き方に互いに強い影響を与え合うことになりました。

私は二十代の頃、この小説を何度も繰り返し読んだのですが、冒頭に出て来るこの場面、いつも胸が詰まりました。

友情を築く礎は「約束を守る」ことなのだと思を揺さぶられたのです。

小説を読み進めるうちに、実在したこの少年の生涯にわたる生き方を知って、人間の約束とは如何に重く大切なことなのだと思ったものです。

読書は心を豊かにし、人生を充実させてくれる大切なものですね。
(記事 鍋島一博)

私たちがアイファーストの想いを紹介します。

アイファーストには、大事にしている経営理念(夢と使命)と、目指すべきビジョン(目標)があります。

経営理念

「愛こそいちばん
アイファーストにかかわる
すべての人々の
しあわせを実現します」

ビジョン

アイファーストのビジョンは五つあります。その内の二つ目をご紹介します。

働きやすく
働きたい会社になる

アイファーストは社員一人ひとりを大切にしており、自由闊達で明るい笑顔に溢れた職場です。社員は夢と希望に満ちており、家族のようにお互いを信頼し、成果を分かち合っています。地元への愛があり、地域社会への貢献と感謝の気持ちを持っています。年齢・性別・経験・立場等に関わらず、どの社員にとっても働きやすく、また、地域からは働きたいと憧れられる会社になっています。

2020年の
健康経営
優良法人
に認定されました！

アイファーストは2年連続で、経済産業省の認定制度の「健康経営優良法人」に認定されました！

社員一人ひとりの健康の保持・増進に努めており、やりがいや働きがいを持つて活躍できる優良企業です。社員は思いやりを大事にして、お互いをより良く理解し、皆が会社を良くしようという前向きに働いています。

今年に更に、従業員のコロナ感染防止の為にいくつかの対策を行っています。

- ・在宅勤務の推奨
- ・各従業員 布マスク及び使い捨てマスク一箱配布
- ・社内に消毒液を常備
- ・社内でのソーシャルディスタンスの実施

今後とも社員の健康の保持・増進に努め、やりがいや働きがいをもつて活躍できる企業として、邁進してまいります！



今こそ、
コストカット！

家計の見直し
会社経費の削減

FP（ファイナンシャルプランナー※）が、ご相談に応じます。

※ファイナンシャル・プランナーFPとは、一人ひとりの将来の夢や目標に対して、お金の面で様々な悩みをサポートし、その解決策をアドバイスする専門家です。

■スーパーオフィス超営業所
神奈川県足柄下郡湯河原町
中央二丁目一八番地二四
電話 0465-6210007
FAX 0465-6313255
【私たちにできること】

- ◎相続対策相談
- ◎賢い貯蓄方法の提案
- ◎保険の「何でも相談」
- ◎自動車事故の相談
- ◎住宅取得資金の相談
- ◎会社の経費削減提案等
- ◎地元企業様、専門家（弁護士・税理士・中小企業診断士等）との提携による「困った解決ネットワーク」構築

【取得資格】

- ・日本ファイナンシャルプランナーズ協会認定（AFP四名）
- ・二級FP技能士四名
- ・トータルライフコンサルタントTLC三名
- ・宅地建物取引主任者一名
- ・資金計画アドバイザー一名
- ・住宅ローンアドバイザー四名
- ・二級建築士一名
- ・中高教員免許取得者二名
- ・貸金業務取扱主任者一名

※ご相談は無料で承っております
※お客様が疑問に思っていること、お困りのこと、ご相談承っております。

幕山公園通り
100円ショップさん
営業所
本社
HottoMottoさん
マックスバリュさん
↓至・海岸 国道135号線